

公開シンポジウム

「第1回理論応用力学シンポジウム」

～自然災害に関する力学研究の動向と課題～

力学に関する最も権威ある国際組織 IUTAM の開催する国際会議の国内版として「理論応用力学講演会」が長年に亘って開催され、力学分野の研究の活性化に貢献してきております。この度、理論応用力学研究をより一層充実させることを目的として、力学分野の先端的研究成果に関する最新動向を共有するとともに、将来への展望について議論することを目的として、公開シンポジウム「理論応用力学シンポジウム」を開催することといたしました。今回は、その第1回として「自然災害に関する力学研究の動向と課題」をテーマとして3件の講演と総合討論でプログラムを構成いたしました。多数のご参加をお待ちしております。

主催：日本学術会議（機械工学委員会、土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会）

共催（予定）：力学アカデミー、応用物理学会、化学工学会、地盤工学会、土木学会、日本応用数理学会、日本風工学会、日本機械学会、日本気象学会、日本計算工学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本地震工学会、日本数学会、日本船舶海洋工学会、日本伝熱学会、日本物理学会、日本流体力学会、日本レオロジー学会、農業農村工学会、日本計算数理工学会、自動車技術会、日本混相流学会

日時：平成26年3月17日（月）13:00～17:00

場所：日本学術会議講堂

参加料：無料（事前申し込み不要）

プログラム

開会の挨拶（13:00～13:15）

岸本喜久雄（日本学術会議会員、機械工学委員会委員長、IUTAM 分科会委員長）

1. 「東北沖地震と南海トラフ地震：力学的に見た類似点と相違点」（13:20～14:10）
松浦充宏（東京大学名誉教授、統計数理研究所）
2. 「土砂崩れ発生の力学的メカニズム — 流体による粒状体の流動化」（14:15～15:05）
佐野理（東京農工大学）
3. 「気象・気候変動予測シミュレーションにおける力学」15:10～16:00
高橋桂子（独立行政法人海洋研究開発機構、日本学術会議連携会員）
4. 総合討論 16:10～16:50

閉会の挨拶（16:50～17:00）

和田 章（日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長）

問い合わせ先

岸本喜久雄（東京工業大学理工学研究科機械理工学専攻）

TEL 03-5734-3101 E-mail kkishimo@mep.titech.ac.jp